

近世  
叢句

明治千題集

山本全九編輯

秋



近世發句の詠子歌集目録  
 秋冬蔵暮之詠一

冷	身之志	新涼	初涼	来る休	初秋	秋立	文月	一
	天の川	星の列	星の合	七夕	花火	初氣	神月	三
	星の骨							
	六							
露	草布	棚突入	生身魂	老の月	祝洗	星葉	立	六
経木流	経る生	妙法文	大文字	きの子	観瓶	松經	五葉	七
沙思	秋葉湯	後入	澄ゆ	暁	蓮板	門葉	抄	八

秋冬

目次一

秋	冬	十	廿	菊	十五	庚	十九	初	佳	廿	秋	廿			
秋	の	青	、	秋	の	子	、	秋	の	月	、	共	初	乃	廿
秋	の	青	、	秋	の	子	、	秋	の	月	、	共	初	乃	廿
秋	の	青	、	秋	の	子	、	秋	の	月	、	共	初	乃	廿
秋	の	青	、	秋	の	子	、	秋	の	月	、	共	初	乃	廿
秋	の	青	、	秋	の	子	、	秋	の	月	、	共	初	乃	廿
秋	の	青	、	秋	の	子	、	秋	の	月	、	共	初	乃	廿
秋	の	青	、	秋	の	子	、	秋	の	月	、	共	初	乃	廿
秋	の	青	、	秋	の	子	、	秋	の	月	、	共	初	乃	廿
秋	の	青	、	秋	の	子	、	秋	の	月	、	共	初	乃	廿

萩	、	萩	の	子	、	新	月	、	乃	、
萩	の	子	、	萩	の	子	、	新	月	、
萩	の	子	、	萩	の	子	、	新	月	、
萩	の	子	、	萩	の	子	、	新	月	、
萩	の	子	、	萩	の	子	、	新	月	、
萩	の	子	、	萩	の	子	、	新	月	、
萩	の	子	、	萩	の	子	、	新	月	、
萩	の	子	、	萩	の	子	、	新	月	、
萩	の	子	、	萩	の	子	、	新	月	、
萩	の	子	、	萩	の	子	、	新	月	、

秋冬

目次二

持出	並	治	駒	致	業	係	引	吟	春	稼
、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
蓮	教	梅	種	瓢	棠	后	菊	秋	竹	秋
、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
猪	八	新	蕃	燭	八	田	落	考	掛	猪
頭	粒	葉	板	米	束	家	梅	の	以	切
、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
橙	梅	梅	梅	梅	梅	梅	梅	梅	梅	梅
、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
栗	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿
、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、

樹	う	そ	肌	秋	秋	長	菊	菊	長	長	長	長	長
、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
稻	稻	中	写	暮	秋	芋	尾	花	花	花	花	花	花
、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
菜	菜	木	木	草	松	初	芥	破	乃	乃	乃	乃	乃
、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
材	材	推	栗	木	木	木	木	木	木	木	木	木	木
、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
栗	柿	除	新	新	新	新	新	新	新	新	新	新	新
、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、

秋冬

目次三

新 荻 麦	斗 糸	升 市	清 过 言	山 粒	后 の 月	寄 冬	寄 寄	秋 表	寄 寄	山 杖
一 季	、	、	、	、	、	一 季	、	、	、	、
身 挿	冬 籾	初 時 子	初 若	秋 雨	初 雪	初 水	火 舟	火 桶	炭 俵	炭 俵
一 季	、	一 季	一 季	一 季	一 季	一 季	、	、	、	、
懐 極	楮	口 切	栗 の 子	お 寄 寒	林 局 子	林 局 子	林 局 子	箱 忌	十 秋	山 杖
一 季	、	、	、	、	一 季	、	、	、	、	一 季
山 賊	水 酒	山 茶 丸	鎌 子	山 仙	杉 尾 子	杉 尾 子	杉 尾 子	薯 柁	麦 籾	大 柁 引
一 季	、	、	一 季	、	、	一 季	、	一 季	、	、
琴 琴	笠 孫 子	鴨	水 繩	孫	鞆	水 俵	水 俵	製 置	袴 忌	被 初
一 季	、	一 季	、	一 季	、	一 季	、	、	、	、

新 荻 麦	斗 糸	升 市	清 过 言	山 粒	后 の 月	寄 冬	寄 寄	秋 表	寄 寄	山 杖
一 季	、	、	、	、	、	一 季	、	、	、	、
身 挿	冬 籾	初 時 子	初 若	秋 雨	初 雪	初 水	火 舟	火 桶	炭 俵	炭 俵
一 季	、	一 季	一 季	一 季	一 季	一 季	、	、	、	、
懐 極	楮	口 切	栗 の 子	お 寄 寒	林 局 子	林 局 子	林 局 子	箱 忌	十 秋	山 杖
一 季	、	、	、	、	一 季	、	、	、	、	一 季
山 賊	水 酒	山 茶 丸	鎌 子	山 仙	杉 尾 子	杉 尾 子	杉 尾 子	薯 柁	麦 籾	大 柁 引
一 季	、	、	一 季	、	、	一 季	、	一 季	、	、
琴 琴	笠 孫 子	鴨	水 繩	孫	鞆	水 俵	水 俵	製 置	袴 忌	被 初
一 季	、	一 季	、	一 季	、	一 季	、	、	、	、

冬之部

十月 一 季	十一月 一 季	十二月 一 季	正月 一 季	二月 一 季	三月 一 季	四月 一 季	五月 一 季	六月 一 季	七月 一 季	八月 一 季	九月 一 季	十月 一 季
、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
粉 炭 卒	枝 炭 卒	炭 俵 卒	炭 俵 卒	炭 俵 卒	炭 俵 卒	炭 俵 卒	炭 俵 卒	炭 俵 卒	炭 俵 卒	炭 俵 卒	炭 俵 卒	炭 俵 卒
、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
山 命 藤	遠 倉 系	本 柁	本 柁	本 柁	本 柁	本 柁	本 柁	本 柁	本 柁	本 柁	本 柁	本 柁
、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
柁 堅	く 札 子	木 乃 柴	木 乃 柴	木 乃 柴	木 乃 柴	木 乃 柴	木 乃 柴	木 乃 柴	木 乃 柴	木 乃 柴	木 乃 柴	木 乃 柴
、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
紙 子	紙 子	紙 子	紙 子	紙 子	紙 子	紙 子	紙 子	紙 子	紙 子	紙 子	紙 子	紙 子
、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、

秋冬

目次四



近世發句以俗子題集

大阪 春園窪步遺稿  
全 竹二庵全九増輯  
全 五木庵潮水校正

秋之部

文月

ふ月やあふうとわつとあつと

芥全

あつと月やあつとあつとあつと

飛越

穂立

あつとあつとあつとあつと

旭富

あつとあつとあつとあつと

明々

あつとあつとあつとあつと

白皮

あつとあつとあつとあつと

峰風

秋の夕や月を〜もろもろの巻  
 阿ふらうや多樹と語りぬの風  
 條ふや枝〜を〜あ〜やを毛  
 ま〜あや市の中〜り秋の事つ  
 舞ふや夜〜〜〜作樂不景  
 山細〜秋も〜〜望夕雨し  
 相一葉〜夜々〜あ〜る〜章理  
 席の秋〜川や一編風〜仙花  
 同〜人〜又誰人〜りや〜さ〜ゆ  
 ん〜列〜〜〜〜〜〜〜  
 松風の細子〜〜〜〜  
 石 彦 栞 菜 閑 生 亭 村 花 月 白 圭 水 乙 人 曉 完

夕秋

夕の〜〜〜  
 阿ふらうや多樹と語りぬの風  
 條ふや枝〜を〜あ〜やを毛  
 ま〜あや市の中〜り秋の事つ  
 舞ふや夜〜〜〜作樂不景  
 山細〜秋も〜〜望夕雨し  
 相一葉〜夜々〜あ〜る〜章理  
 席の秋〜川や一編風〜仙花  
 同〜人〜又誰人〜りや〜さ〜ゆ  
 ん〜列〜〜〜〜〜〜〜  
 松風の細子〜〜〜〜  
 石 彦 栞 菜 閑 生 亭 村 花 月 白 圭 水 乙 人 曉 完

秋

二



初穂

三秋林とあうや夕アの五り風 耕 雨  
 神ああやうと秋一むきのち 雀 交  
 三秋乃おをうとらるる二り月 粗 麦  
 三川橋やあまうと海とさうの音 百三編 多音  
 三秋の海とけうと子路の音 小 宗  
 けつ秋と一とやと海名の秋陸う 節 陸  
 神秋やうのうと秋とふさうの風 春 陽  
 三をうと秋とあまうと秋のやと 山 智  
 順それい秋のあまあり秋元 思 風  
 三秋林やあまうと秋とあまうと 法 地  
 三秋の音もとてあてあて一秋陽 良 三

来る秋

初涼

新涼

中秋やうと秋とあまうと秋の音 野 風  
 三秋あまうと秋とあまうと秋の音 我 生  
 三秋あまうと秋とあまうと秋の音 北 處  
 三秋あまうと秋とあまうと秋の音 法 少  
 三秋あまうと秋とあまうと秋の音 宿 雨  
 三秋あまうと秋とあまうと秋の音 虚 白  
 三秋あまうと秋とあまうと秋の音 思 孝  
 三秋あまうと秋とあまうと秋の音 然 平  
 三秋あまうと秋とあまうと秋の音 琴 史  
 三秋あまうと秋とあまうと秋の音 作 畫  
 三秋あまうと秋とあまうと秋の音 晚 音

冷

初月



花火  
 人のあはれはしるる松の葉は  
 松葉やあはれはしるる松の葉は  
 松葉やあはれはしるる松の葉は  
 松葉やあはれはしるる松の葉は  
 松葉やあはれはしるる松の葉は  
 松葉やあはれはしるる松の葉は  
 松葉やあはれはしるる松の葉は  
 松葉やあはれはしるる松の葉は  
 松葉やあはれはしるる松の葉は  
 松葉やあはれはしるる松の葉は  
 松葉やあはれはしるる松の葉は

星合  
 星の別  
 乙の川  
 星の別  
 乙の川  
 星の別  
 乙の川  
 星の別  
 乙の川  
 星の別  
 乙の川  
 星の別  
 乙の川

在之原宮



川魚の

鱈

鱈

けさの秋

まき



星今言	立 琴	星 榮
申しきぬまゝの物なすまの門 除くまゝの海を渡るは海 まゝを渡るはまゝを渡るは まゝを渡るはまゝを渡るは まゝを渡るはまゝを渡るは まゝを渡るはまゝを渡るは まゝを渡るはまゝを渡るは まゝを渡るはまゝを渡るは	まゝを渡るはまゝを渡るは まゝを渡るはまゝを渡るは まゝを渡るはまゝを渡るは まゝを渡るはまゝを渡るは まゝを渡るはまゝを渡るは まゝを渡るはまゝを渡るは まゝを渡るはまゝを渡るは まゝを渡るはまゝを渡るは	まゝを渡るはまゝを渡るは まゝを渡るはまゝを渡るは まゝを渡るはまゝを渡るは まゝを渡るはまゝを渡るは まゝを渡るはまゝを渡るは まゝを渡るはまゝを渡るは まゝを渡るはまゝを渡るは まゝを渡るはまゝを渡るは
稻 交	松 乃	麻 交
水 壺	燈 台	燈 台
水 壺	燈 台	燈 台

秋

六



五葉盆

魂は身よりこぼれりてまわり能く少  
さうらふ人や葉よりまじりては海所所  
うらや葉よりまじりてはまじりて外

雀  
少

好  
海

清  
連

石  
葉

唯  
風

玉  
友

梅  
所

可  
静

南  
於

白  
左

松  
雅

桐經

桐經や経よりまじりてはまじりて外  
まじりてはまじりてはまじりて外

墓糸

墓糸は身よりこぼれりてまわり能く少  
さうらふ人や葉よりまじりては海所所

燈籠

燈籠は身よりこぼれりてまわり能く少  
さうらふ人や葉よりまじりては海所所

切子

切子は身よりこぼれりてまわり能く少  
さうらふ人や葉よりまじりては海所所

犀  
枝

二  
村

草  
交

大  
林

火  
高

一  
楯

石  
葉

大文字

大文字は身よりこぼれりてまわり能く少  
さうらふ人や葉よりまじりては海所所

世法火

世法火は身よりこぼれりてまわり能く少  
さうらふ人や葉よりまじりては海所所

秋









秋の風や海や松の影  
 秋の風や海や松の影  
 秋の風や海や松の影  
 秋の風や海や松の影  
 秋の風や海や松の影  
 秋の風や海や松の影  
 秋の風や海や松の影  
 秋の風や海や松の影  
 秋の風や海や松の影  
 秋の風や海や松の影

秋の風や海や松の影  
 秋の風や海や松の影  
 秋の風や海や松の影  
 秋の風や海や松の影  
 秋の風や海や松の影  
 秋の風や海や松の影  
 秋の風や海や松の影  
 秋の風や海や松の影  
 秋の風や海や松の影  
 秋の風や海や松の影

秋

秋乃山

ささくさく通りゆく音ね秋乃山

栂屋

秋乃水

ささくさく通りゆく音ね秋乃水

素山

秋乃川

ささくさく通りゆく音ね秋乃川

石条

秋の音

ささくさく通りゆく音ね秋の音

白圭

秋

ささくさく通りゆく音ね秋

存宜

ささくさく通りゆく音ね秋乃山  
ささくさく通りゆく音ね秋乃水  
ささくさく通りゆく音ね秋乃川  
ささくさく通りゆく音ね秋の音  
ささくさく通りゆく音ね秋

多广品  
多風  
多座  
素路  
竹出  
栂屋  
栂字  
栂圃  
栂水  
栂壺  
星塚  
星三

秋

十三

紫苑  
青蓮

水子枝やはら申すまきうけの嘆ゆる  
にきうけのもつきのよみ秋のよみ  
多作のりよと并つてうき葉のり  
静かあやうくけつとてあやうき  
花石のうけのけつ守てけつはけ  
あり花のやうきとてけつはけ  
静か申すやうきけつはけ  
言ふとてけつはけ  
静か申すやうきけつはけ  
静か申すやうきけつはけ  
静か申すやうきけつはけ

青  
竹  
林  
末  
末  
百  
可  
若  
出  
紫  
文  
五  
洲  
唯  
風  
阿  
雪

如  
茶花

水子枝やはら申すまきうけの嘆ゆる  
にきうけのもつきのよみ秋のよみ  
多作のりよと并つてうき葉のり  
静かあやうくけつとてあやうき  
花石のうけのけつ守てけつはけ  
あり花のやうきとてけつはけ  
静か申すやうきけつはけ  
言ふとてけつはけ  
静か申すやうきけつはけ  
静か申すやうきけつはけ  
静か申すやうきけつはけ

茶  
花  
二  
口  
連  
梅  
水  
泉  
山  
葉  
尾  
連  
浦  
曲  
川  
岸  
金

秋七子

山	水	竹	石	花	鳥	虫	魚	獣	人
山	水	竹	石	花	鳥	虫	魚	獣	人
山	水	竹	石	花	鳥	虫	魚	獣	人
山	水	竹	石	花	鳥	虫	魚	獣	人
山	水	竹	石	花	鳥	虫	魚	獣	人

芒

秋

草乃虫

草	虫	花	鳥	魚	獣	人
草	虫	花	鳥	魚	獣	人
草	虫	花	鳥	魚	獣	人
草	虫	花	鳥	魚	獣	人
草	虫	花	鳥	魚	獣	人

桂梗

野菜

芒



秋茄子	秋茄子	我木鳥	零條子	秋海棠	若花子
新秋のちあやうやうそそしほ	あさ白け松と早ありわあそは共	あつたのちつこいそそしほ	秋茄子	秋海棠	若花子
秋茄子	秋茄子	秋茄子	秋茄子	秋海棠	若花子
秋茄子	秋茄子	秋茄子	秋茄子	秋海棠	若花子
秋茄子	秋茄子	秋茄子	秋茄子	秋海棠	若花子
秋茄子	秋茄子	秋茄子	秋茄子	秋海棠	若花子
秋茄子	秋茄子	秋茄子	秋茄子	秋海棠	若花子
秋茄子	秋茄子	秋茄子	秋茄子	秋海棠	若花子
秋茄子	秋茄子	秋茄子	秋茄子	秋海棠	若花子
秋茄子	秋茄子	秋茄子	秋茄子	秋海棠	若花子

芙蓉	芭蕉	牛房川
新秋のちあやうやうそそしほ	あさ白け松と早ありわあそは共	あつたのちつこいそそしほ
秋茄子	秋茄子	秋茄子
秋茄子	秋茄子	秋茄子
秋茄子	秋茄子	秋茄子
秋茄子	秋茄子	秋茄子
秋茄子	秋茄子	秋茄子
秋茄子	秋茄子	秋茄子
秋茄子	秋茄子	秋茄子
秋茄子	秋茄子	秋茄子

芳菴

二ふく月もほき味きりるる  
二出たあまをふくあまはなげき  
あつたあまをふくあまはなげき

秋 菴  
梅 所  
水 芝

秋 草

あやむハ草をふくあまはなげき  
うさくもあまをふくあまはなげき  
あまをふくあまはなげき

秋 草  
竹 今  
月 海

花 所

あまをふくあまはなげき  
あまをふくあまはなげき  
あまをふくあまはなげき

花 所  
白 圭  
海 海

西 瓜

あまをふくあまはなげき  
あまをふくあまはなげき  
あまをふくあまはなげき

西 瓜  
二 居  
水 水

真 菴

あまをふくあまはなげき  
あまをふくあまはなげき  
あまをふくあまはなげき

真 菴  
全 九  
石 菜

糸 瓜

あまをふくあまはなげき  
あまをふくあまはなげき  
あまをふくあまはなげき

糸 瓜  
阿 吉  
水 水

稲 の 茎

あまをふくあまはなげき  
あまをふくあまはなげき  
あまをふくあまはなげき

稲 の 茎  
水 水  
百 丈

早 稲

秋



灸節  
木槿

亭山花

三	級	風	堂	六	臺	素	六	雀	香	三	層	三	層	石
三	級	風	堂	六	臺	素	六	雀	香	三	層	三	層	石
三	級	風	堂	六	臺	素	六	雀	香	三	層	三	層	石

一葉

斧	金	浪	魚	松	三	岳	松	西	素	友	竹
斧	金	浪	魚	松	三	岳	松	西	素	友	竹
斧	金	浪	魚	松	三	岳	松	西	素	友	竹

秋

秋

一ち〜〜〜  
 仲ね〜〜〜  
 菊相のひ〜  
 柿〜  
 早〜  
 第〜  
 ち〜  
 豆〜  
 中〜  
 灯の〜

南  
 水  
 六  
 龍  
 水  
 雨  
 池  
 月  
 少  
 雨  
 剛

秋新や〜  
 中〜  
 海〜  
 庭〜  
 一〜  
 新〜  
 多〜  
 月〜  
 庭〜  
 文〜  
 雪〜

庭  
 秀  
 閑  
 庭  
 松  
 節  
 素  
 踏  
 石  
 丈  
 草  
 水  
 芝  
 文  
 依  
 美

秋

二十

法 撰

中野をみゆのふくむは是事李 星 城  
 空ふくやまのまゝも唯のまゝも 夢 介  
 多岐ふゆのまゝも唯のまゝも 壽 隆  
 野うてまゝも 唯のまゝも 真 度  
 ありまゝもまゝもまゝも 唯のまゝも 山 源  
 即ちまゝもまゝもまゝも 唯のまゝも 松 炭  
 重筆やまゝもまゝもまゝも 唯のまゝも 玉 節  
 早折まゝもまゝもまゝも 唯のまゝも 其 潤  
 さのまゝもまゝもまゝも 唯のまゝも 皇 村  
 唯のまゝもまゝもまゝも 唯のまゝも 鹿 竹  
 唯のまゝもまゝもまゝも 唯のまゝも 弘 源

第 馬

唯のまゝもまゝもまゝも 唯のまゝも 御 水  
 多やまゝもまゝもまゝも 唯のまゝも 全 九

要 去

唯のまゝもまゝもまゝも 唯のまゝも 壽 山  
 唯のまゝもまゝもまゝも 唯のまゝも 員 秩

味

唯のまゝもまゝもまゝも 唯のまゝも 六 風  
 唯のまゝもまゝもまゝも 唯のまゝも 竹 窓

簡 併

唯のまゝもまゝもまゝも 唯のまゝも 可 節  
 唯のまゝもまゝもまゝも 唯のまゝも 柳 吟

冷 貴

唯のまゝもまゝもまゝも 唯のまゝも 松 谷  
 唯のまゝもまゝもまゝも 唯のまゝも 池 水

松 貴

唯のまゝもまゝもまゝも 唯のまゝも 佳 瓶

秋

廿一

義虫

菜立虫

このふり竹 枝よふくつよ叫一の亀 永 根  
 善むーの何れいしあふりぬりふ 喜 村  
 礫よんぬのあふりさふや菜立虫 旭 富  
 老の身はあふりむ枝よや菜立虫 元 碎  
 折よつりしとぬーも漏て菜立虫 鉄 石  
 菜よつりしとぬーも漏て菜立虫 唯 凡  
 折れぬしとぬーも漏て菜立虫 喜 産  
 菜よつりしとぬーも漏て菜立虫 双 新  
 折れぬしとぬーも漏て菜立虫 菜 田  
 折れぬしとぬーも漏て菜立虫 可 可  
 折れぬしとぬーも漏て菜立虫 董 二

松則鳴

きりく

きりく 鳴中むゆおきつりぬ 如 風  
 葉よつりしとぬーも漏て菜立虫 岸 今  
 向あふりしとぬーも漏て菜立虫 粒 産  
 うねるふおあふりしとぬーも漏て菜立虫 松 宇  
 若くすつや折れぬしとぬーも漏て菜立虫 可 龍  
 若くすつや折れぬしとぬーも漏て菜立虫 菜 表  
 きりく 鳴中むゆおきつりぬ 菜 惜  
 若くすつや折れぬしとぬーも漏て菜立虫 菜 翁  
 若くすつや折れぬしとぬーも漏て菜立虫 年 翁  
 若くすつや折れぬしとぬーも漏て菜立虫 可 翁

秋

秋

廿二

梧 吟

梧くかしらうもはるきく車  
 文 駭  
 路よりもうとほなうとん  
 市 彦  
 秋の風をきくしうとほ  
 山  
 川舟やうしうとほとん  
 在 彦  
 とんてくしうとほとん  
 架 彦  
 路もくしうとほとん  
 眞 波  
 于 細よりきくしうとほ  
 破 堂  
 客うれぬ路よりとん  
 永 橋  
 路町の路をぬりてとん  
 沙 山  
 竹垣の路をぬりてとん  
 梅 彦  
 路もくしうとほとん  
 水

秋 吟  
殊 蝶

秋くはるきくもはるきく  
 魯 彦  
 路よりきくしうとほとん  
 吽 彦  
 夕うきくしうとほとん  
 幻 彦  
 秋くはるきくもはるきく  
 芦 彦  
 秋くはるきくもはるきく  
 玉 彦  
 秋くはるきくもはるきく  
 松 彦  
 秋くはるきくもはるきく  
 圭 彦  
 秋くはるきくもはるきく  
 水 彦  
 秋くはるきくもはるきく  
 大 彦  
 秋くはるきくもはるきく  
 甘 彦  
 秋くはるきくもはるきく  
 石 彦  
 秋くはるきくもはるきく  
 芝 彦

桐

桐や竹やうきうきもきよきよ木 南 歌

りや言をさるる桐やうきうき木 高 村

じくくきをきくくくくくくく 研 室

桐やうきうきくくくくくくく 水

新 録

高山やうきうきくくくくくく 金 九

咬 寸

高く木をさるるやききききき ち 九

持ててまうまう丸まやゆゆやま 唾 風

新 夕 雲

くくの時 降るもまききききき 宿 皮

藤 夕 雲

高きく木をさるるくくくくく 三 麻

くくくくくくくくくくくくく 藤 芳

くくくくくくくくくくくくく 源 芳

初 鞋

くくくくくくくくくくくくく 初 鞋

八 朔

ハ朔や竹もうきうきと 田 崎 彦

ハさくくくくくくくくくくく 夢 吾

ハ高や竹もうきうきと 夢 吾

ハ高や竹もうきうきと 夢 吾

ハ高や竹もうきうきと 夢 吾

ハ高や竹もうきうきと 夢 吾

ハ高や竹もうきうきと 夢 吾

ハ高や竹もうきうきと 夢 吾

ハ高や竹もうきうきと 夢 吾

秋

廿四

十月月  
 待宵  
 月  
 此の月おしとてさかすか ねり上 汝山  
 三日月やつとて無き 新に汝 野童  
 三日月の入り深き 橋の夕 豊村  
 物や汝のくるとの 力の世にすれ 子野  
 三日月もさかすか 秋の光り 柳弓  
 月つげも十月と 菊の 河童  
 夢のうらやまの 夢のうらやま 似蝶  
 夢のうらやまの 夢のうらやま 雀所  
 夢のうらやまの 夢のうらやま 小糸  
 夢のうらやまの 夢のうらやま 水  
 夢のうらやまの 夢のうらやま 芳金

秋  
 此の月おしとてさかすか ねり上 汝山  
 三日月やつとて無き 新に汝 野童  
 三日月の入り深き 橋の夕 豊村  
 物や汝のくるとの 力の世にすれ 子野  
 三日月もさかすか 秋の光り 柳弓  
 月つげも十月と 菊の 河童  
 夢のうらやまの 夢のうらやま 似蝶  
 夢のうらやまの 夢のうらやま 雀所  
 夢のうらやまの 夢のうらやま 小糸  
 夢のうらやまの 夢のうらやま 水  
 夢のうらやまの 夢のうらやま 芳金

秋

廿五





名月

光つて〜	水月	望月	蟾蜍	玉兔	玉杵	玉兔	玉杵
松影もあつて〜	松月	松影	松影	松影	松影	松影	松影
月影や海の十里を照らす	海月	海影	海影	海影	海影	海影	海影
光つてもある〜	光月	光影	光影	光影	光影	光影	光影
望月のまは〜	望月	望影	望影	望影	望影	望影	望影
名月やつ〜	名月	名影	名影	名影	名影	名影	名影
名月や〜	名月	名影	名影	名影	名影	名影	名影
望月の影〜	望月	望影	望影	望影	望影	望影	望影
名月や〜	名月	名影	名影	名影	名影	名影	名影
名月や〜	名月	名影	名影	名影	名影	名影	名影
名月や〜	名月	名影	名影	名影	名影	名影	名影
名月や〜	名月	名影	名影	名影	名影	名影	名影
名月や〜	名月	名影	名影	名影	名影	名影	名影

今日月

名〜	名月	名影	名影	名影	名影	名影	名影
望月の影〜	望月	望影	望影	望影	望影	望影	望影
名月や〜	名月	名影	名影	名影	名影	名影	名影
名月や〜	名月	名影	名影	名影	名影	名影	名影
名月や〜	名月	名影	名影	名影	名影	名影	名影
名月や〜	名月	名影	名影	名影	名影	名影	名影
名月や〜	名月	名影	名影	名影	名影	名影	名影
名月や〜	名月	名影	名影	名影	名影	名影	名影
名月や〜	名月	名影	名影	名影	名影	名影	名影
名月や〜	名月	名影	名影	名影	名影	名影	名影
名月や〜	名月	名影	名影	名影	名影	名影	名影



月見

まろや月さすもたしくと	号	哉
あなをのこりあきしりそ月さす	乙	歌
あきしりあきしりあきしりあきしり	未	考
あきしりあきしりあきしりあきしり	丙	行
あきしりあきしりあきしりあきしり	乾	色
あきしりあきしりあきしりあきしり	松	露
あきしりあきしりあきしりあきしり	鼻	皮
あきしりあきしりあきしりあきしり	未	考
あきしりあきしりあきしりあきしり	み	風
あきしりあきしりあきしりあきしり	桃	字
あきしりあきしりあきしりあきしり	静	

十月宵

あきしりあきしりあきしりあきしり	未	考
あきしりあきしりあきしりあきしり	み	風
あきしりあきしりあきしりあきしり	桃	字
あきしりあきしりあきしりあきしり	静	

五詩

居待月

あきしりあきしりあきしりあきしり	石	菜
あきしりあきしりあきしりあきしり	菊	花
あきしりあきしりあきしりあきしり	澄	月
あきしりあきしりあきしりあきしり	湖	水
あきしりあきしりあきしりあきしり	空	村
あきしりあきしりあきしりあきしり	不	茶
あきしりあきしりあきしりあきしり	新	雅
あきしりあきしりあきしりあきしり	澤	波
あきしりあきしりあきしりあきしり	湖	水
あきしりあきしりあきしりあきしり	松	露
あきしりあきしりあきしりあきしり	松	谷

休詩

文詩

文中月

大之夜

望月歌

秋の雨

たづね 竹ノ葉ノ露 しみ 露なる  
きよき 力にて 思ふも ちよと 松の白  
木あり ちよと 思ふも ちよと 松の白  
秋の雨 ちよと 思ふも ちよと 松の白  
秋の雨 ちよと 思ふも ちよと 松の白  
秋の雨 ちよと 思ふも ちよと 松の白  
秋の雨 ちよと 思ふも ちよと 松の白

素 同  
松 窓  
奇 兆  
可 交  
糸 風 也  
水 水  
水 水  
石 葉  
曲 川  
乘 化  
女 海

秋の日  
松の葉

秋の日 松の葉  
秋の日 松の葉  
秋の日 松の葉  
秋の日 松の葉  
秋の日 松の葉  
秋の日 松の葉  
秋の日 松の葉

松 葉  
松 葉  
松 葉  
松 葉  
松 葉  
松 葉  
松 葉

お 撲

お 撲  
お 撲  
お 撲  
お 撲  
お 撲  
お 撲  
お 撲

水 芝  
水 芝  
水 芝  
水 芝  
水 芝  
水 芝  
水 芝

秋

三十



秋の暮

乃そりハリ	秋の暮	未枯	二百十日
ハリ	乃そりハリ	未枯	二百十日
ハリ	乃そりハリ	未枯	二百十日
ハリ	乃そりハリ	未枯	二百十日
ハリ	乃そりハリ	未枯	二百十日
ハリ	乃そりハリ	未枯	二百十日
ハリ	乃そりハリ	未枯	二百十日
ハリ	乃そりハリ	未枯	二百十日
ハリ	乃そりハリ	未枯	二百十日
ハリ	乃そりハリ	未枯	二百十日
ハリ	乃そりハリ	未枯	二百十日

秋

乃そりハリ	秋	未枯	二百十日
ハリ	乃そりハリ	未枯	二百十日
ハリ	乃そりハリ	未枯	二百十日
ハリ	乃そりハリ	未枯	二百十日
ハリ	乃そりハリ	未枯	二百十日
ハリ	乃そりハリ	未枯	二百十日
ハリ	乃そりハリ	未枯	二百十日
ハリ	乃そりハリ	未枯	二百十日
ハリ	乃そりハリ	未枯	二百十日
ハリ	乃そりハリ	未枯	二百十日
ハリ	乃そりハリ	未枯	二百十日

卯辰

三月辰やうきも二ね三解  
けうけやくのちまうち多中  
はらうやまおあふもまるフ  
まふあやひまの持あつ  
年一まふおあううまくる  
けき一まふまふ一ね  
ほろのうきを移あひまう  
あうへまふまふのま  
あうけ一一人輪あやフのま

大喬  
出  
宍少  
真城  
富水  
閑宮  
舞鶴  
存宜  
可交  
阿尾  
梅二

雁

雁

年をたかハ辰はさきまう  
きまうけ月ハ一羽やふ辰  
黒のうきまを移あひまう  
フ鳴やあまあま丁辰輪あ  
と一やま一まうけあま  
辰風やまハちまふまま  
又まあうつらぬりまあ  
まあまあまハ小まの辰  
辰月一まあまハまやま  
比まままままの辰ま  
まままままままま

善修  
梅宇  
壽山  
五鳳  
亮路  
凉坪  
色風  
妙松女  
其根  
真山  
般水







引板

引くもよ又ゆれぬもの鳴まふ  
石村

日方ア一山平しくく引板方音  
音石

とてアハきくね曲一引板方音  
海雪

山平中へきくもりやとくの地  
蒼平呂

添水

中へ傾ふおきき申き添水か  
挑字

おきききききききききききき  
宛月

紫山子

夕くもゆ人々も梅を紫山子  
丸年

弓は力ゆくことえぬくし  
子尋

歩りくくく月あき紫山子  
志路

人々おききき紫山子也  
遊里

放鳥

あう向しきききの田をきく  
鳥山

きねきハあきききききき  
果生

友きの来てきハききききき  
西月

約費

約費のきききききききき  
阿雪

約費のきききききききき  
風介

約込

あう向しきききの田をきく  
藪水

いきくくやきききききき  
藪水

あう向しきききの田をきく  
巴乃

置倉

あう向しきききの田をきく  
五瓶

あう向しきききの田をきく  
瓶水

持巻

あう向しきききの田をきく  
海家

繪行風

風の色は雨の雫とてさかすかに霞を穿て

線末

流りの急や思ふ事の流りたつて秋の夜

風外

流り急や思ふ事の流りたつて秋の夜

素香

附の別

思のふり一板の板をたたく

佳月

さかすかに秋の夜

全丸

葉月

葉の月や山あはれを思ふ

法古

霜の月や人かへるを思ふ

可珍

長月

とく書はおもて月かきく明

仁里

落木

夕月の影もさかすかに

南殿

落木は林の口にも風はさかす

茶譜

秋

暁星とてさかすかに

田のうもさかすかに

水はさかすかに

秋の月や人かへるを思ふ

あささかすかに

秋の月や山あはれを思ふ

秋の月や人かへるを思ふ

秋の月や山あはれを思ふ

秋の月や人かへるを思ふ

あささかすかに

あささかすかに

あささかすかに

秋

三十七

夜 寝

千草のむくやふあそくやいとそそ  
 秋のそとわつとくさあそくや  
 後のそとわつとくさあそくや  
 懐のそとわつとくさあそくや  
 里のそとわつとくさあそくや  
 桂のそとわつとくさあそくや  
 夕のそとわつとくさあそくや  
 何のそとわつとくさあそくや  
 秋のそとわつとくさあそくや  
 孤まゆをそとわつとくさあそくや

百  
 福  
 北  
 春  
 乙  
 海  
 渚  
 河  
 可  
 雪

肌 寒

其の秋

秋 寒

竹 春

秋 祭

そのそとわつとくさあそくや  
 うそそそやあそくはそとわつとくさあそくや  
 川流のそとわつとくさあそくや  
 やそそやあそくはそとわつとくさあそくや  
 秋のそとわつとくさあそくや  
 秋のそとわつとくさあそくや  
 秋のそとわつとくさあそくや  
 秋のそとわつとくさあそくや  
 秋のそとわつとくさあそくや  
 秋のそとわつとくさあそくや  
 秋のそとわつとくさあそくや

百  
 福  
 北  
 春  
 乙  
 海  
 渚  
 河  
 可  
 雪

菊重ね 後の雛	蘭	瓢	種之
四重なるよきいりけり 枝多 指さすはろみやまきし 葉多 付りりし花と湧し 後の雛 葉多き世一人を 葉多や後の雛 まきし 葉多き世一人を 葉多や後の雛 葉多き世一人を 葉多や後の雛 葉多き世一人を 葉多や後の雛	葉多き世一人を 葉多や後の雛 葉多き世一人を 葉多や後の雛 葉多き世一人を 葉多や後の雛 葉多き世一人を 葉多や後の雛	葉多き世一人を 葉多や後の雛 葉多き世一人を 葉多や後の雛 葉多き世一人を 葉多や後の雛 葉多き世一人を 葉多や後の雛	葉多き世一人を 葉多や後の雛 葉多き世一人を 葉多や後の雛 葉多き世一人を 葉多や後の雛 葉多き世一人を 葉多や後の雛
英 水	水	水	水

種之	瓢	蘭	菊重ね 後の雛
葉多き世一人を 葉多や後の雛 葉多き世一人を 葉多や後の雛 葉多き世一人を 葉多や後の雛 葉多き世一人を 葉多や後の雛	葉多き世一人を 葉多や後の雛 葉多き世一人を 葉多や後の雛 葉多き世一人を 葉多や後の雛 葉多き世一人を 葉多や後の雛	葉多き世一人を 葉多や後の雛 葉多き世一人を 葉多や後の雛 葉多き世一人を 葉多や後の雛 葉多き世一人を 葉多や後の雛	葉多き世一人を 葉多や後の雛 葉多き世一人を 葉多や後の雛 葉多き世一人を 葉多や後の雛 葉多き世一人を 葉多や後の雛
水	水	水	水

秋

三十九

蓮花

船中より舟中より暮らやちや  
蓮花の美しき花とひしや  
蓮花の二葉の又あつたると又結ぶ

山遊  
花助  
嘉柳

風仙花

あささきやうん多座を  
あささきやうん多座を  
あささきやうん多座を

林葉  
文雪  
水

花

武蔵の山も名も  
あささきやうん多座を  
あささきやうん多座を

振度  
一指  
雲

尾

あささきやうん多座を  
あささきやうん多座を  
あささきやうん多座を

映山  
水

草

あささきやうん多座を  
あささきやうん多座を  
あささきやうん多座を

山  
木

萩

あささきやうん多座を  
あささきやうん多座を  
あささきやうん多座を

写  
山

萩の身

あささきやうん多座を  
あささきやうん多座を  
あささきやうん多座を

山  
月

秋

四一

夢の花  
引菜

乃のあはけのりや夢の玉  
引菜の影を又見しや  
夢の影を又見しや

中接  
大指

中接の影を又見しや  
大指の影を又見しや

稲

稲の影を又見しや  
稲の影を又見しや

中接

中接の影を又見しや  
中接の影を又見しや

大指

大指の影を又見しや  
大指の影を又見しや

移る波

山折の影を又見しや  
山折の影を又見しや

稲

稲の影を又見しや  
稲の影を又見しや

拭

拭の影を又見しや  
拭の影を又見しや

是甲

是甲の影を又見しや  
是甲の影を又見しや

落

落の影を又見しや  
落の影を又見しや

田の

田の影を又見しや  
田の影を又見しや

秋

甲

八束梅

八束梅や甲さく甲さくふ枝りし望

素若

媛米

八束梅やさく新米の二束傍

全九

蕃椒

中ふ米やほす時ふもふもふ

派美

ほくそ菜とさあつこれと厚くし

蕃成

ほくそやうまゆめを丸や厚くし

素石

人の懐さくくつ所、おとそ庵寺子

稻處

とくのなふふししやうそ蕃椒

引道

厚くししししおの方さけ更のりし

漱水

あつ枝の葉ありや、厚くしし厚くし

菜石

ほくそやうまゆめを丸や厚くし

全九

新菜

新菜の身い厚くする新りし

身月

ハ報梅

新菜は葉やちうとちうとちうと

豊明

鶯頭

月あつ報梅のか本は定

多推

向布りしおあ梅おひつう鶯頭

奇兆

鶯頭やあつしとふりのあつを

ら新

あつりやあつしとふり厚くお

南新

一風梅おさくしとふり厚くお

文介

厚くおの梅とさくしとふり厚くお

信越

あつしとふり厚くおの梅とさくし

梅越

信越の梅とさくしとふり厚くお

艾雄

信越梅

信越の梅とさくしとふり厚くお

豊雄





晴るも霞あつきの席やきくの丘  
 赤穂の山頂  
 女房のえんかゝるきき 睡り柳  
 稲穂も田舎のねむも菊の細  
 白圭  
 ぬきとやまのあつりけいさうあき  
 峯  
 船のとも雲ひよちうやきよたき  
 芥  
 龍飛のりしちりやまのまをむ  
 叫宝  
 字もあつくとびて貴れよ菊さう  
 松  
 遠くゆくちりそえんかゝるきき  
 二江  
 ちりあつちり 秋のまふちり  
 序  
 ちりあつちりもたれけやまのまをむ  
 序  
 ちりあつちりもたれけやまのまをむ  
 序

年のうらさきよき 菊のまをむ  
 赤穂の山頂  
 ぬきとやまのあつりけいさうあき  
 峯  
 船のとも雲ひよちうやきよたき  
 芥  
 龍飛のりしちりやまのまをむ  
 叫宝  
 字もあつくとびて貴れよ菊さう  
 松  
 遠くゆくちりそえんかゝるきき  
 二江  
 ちりあつちり 秋のまふちり  
 序  
 ちりあつちりもたれけやまのまをむ  
 序  
 ちりあつちりもたれけやまのまをむ  
 序

秋

四十四

久しきとをきくと 梅を葉なりむ	友竹
度々を白ひほりきくつて	愛梅
作れれいも難く知れぬ	深美
松錦一や菊よりなり	雀少
さん菊や菊を葉なり	南野
とくくの葉なり	全九
若くは子なり	所臺
きせはや月より	守親
うりやれいも	清拙
修くても	素香
まわり合す	阿豆

砂葉

菊合

牡丹

梅きくや乃り	得之
うきを葉なり	弁水
付くも	亭都
梅より	清拙
そく	葵園
紅く	海美
青く	垂山
赤く	星谷
白く	女花
りり	一亭
	梅香

梅葉

牡丹

紅葉

秋

四十五

梅の影

梅の影

梅の影

梅の影



梅の影

梅の影

梅の影

梅の影

梅の影

梅の影

梅の影

梅の影

梅の影

梅の影

梅の影

梅の影

桐葉	玉の葉をみりてさくもみ葉うき	花江也
桐葉	お葉をみる中よけくさ葉うき	澄月
桐葉	山系やまのくさ葉うき極の葉	花
桐葉	鳥居り鳥居りさうりや極の葉	子居
苦茶	新茶を焙じてるさうりみちか	松橋
	秋末もももさうり茶葉	一際
	極茶もさうり新茶やつて茶葉	破笠
	香うぬおちもさうり茶葉	屏風
	風流もさうり茶葉	とほり
茶葉	ひまもさうり茶葉	素襦
	茶葉を焙じて茶葉	文扇

桐葉	さくもみ葉うき	花江也
桐葉	お葉をみる中よけくさ葉うき	澄月
桐葉	山系やまのくさ葉うき極の葉	花
桐葉	鳥居り鳥居りさうりや極の葉	子居
苦茶	新茶を焙じてるさうりみちか	松橋
	秋末もももさうり茶葉	一際
	極茶もさうり新茶やつて茶葉	破笠
	香うぬおちもさうり茶葉	屏風
	風流もさうり茶葉	とほり
茶葉	ひまもさうり茶葉	素襦
	茶葉を焙じて茶葉	文扇





唐船	新景納	唐留	花舟	雙楫	清壺	桂滿	空白
唐船	新景納	唐留	花舟	雙楫	清壺	桂滿	空白
唐船	新景納	唐留	花舟	雙楫	清壺	桂滿	空白
唐船	新景納	唐留	花舟	雙楫	清壺	桂滿	空白
唐船	新景納	唐留	花舟	雙楫	清壺	桂滿	空白
唐船	新景納	唐留	花舟	雙楫	清壺	桂滿	空白
唐船	新景納	唐留	花舟	雙楫	清壺	桂滿	空白
唐船	新景納	唐留	花舟	雙楫	清壺	桂滿	空白
唐船	新景納	唐留	花舟	雙楫	清壺	桂滿	空白
唐船	新景納	唐留	花舟	雙楫	清壺	桂滿	空白

新米	山田	新米	新米	新米	新米	新米	新米	新米	新米
新米	山田	新米	新米	新米	新米	新米	新米	新米	新米
新米	山田	新米	新米	新米	新米	新米	新米	新米	新米
新米	山田	新米	新米	新米	新米	新米	新米	新米	新米
新米	山田	新米	新米	新米	新米	新米	新米	新米	新米
新米	山田	新米	新米	新米	新米	新米	新米	新米	新米
新米	山田	新米	新米	新米	新米	新米	新米	新米	新米
新米	山田	新米	新米	新米	新米	新米	新米	新米	新米
新米	山田	新米	新米	新米	新米	新米	新米	新米	新米
新米	山田	新米	新米	新米	新米	新米	新米	新米	新米



新律

新くくやとちり 修ふ様どり

文外

よよあまのいふくはやくとくは

三汲

清くくやち振き合うて夜言

清遊

あまのくくくはやくちあまのき

雀舟

新語

あつうはあまのくはやくちあまの

文雄

新くくやち振き合うて夜言

嵐外

新法

よよあまのいふくはやくとくは

昇高

あまのくくくはやくちあまのき

雀舟

あつうはあまのくはやくちあまの

雀舟

あまのくくくはやくちあまのき

雀舟

あつうはあまのくはやくちあまの

雀舟

蘇蘇蘇

くはやくちあまのくはやくとくは

吳苴

あまのくくくはやくちあまのき

極西

あつうはあまのくはやくちあまの

新水

あまのくくくはやくちあまのき

中臺

あつうはあまのくはやくちあまの

竹花

あまのくくくはやくちあまのき

耘堂

あつうはあまのくはやくちあまの

單吾

あまのくくくはやくちあまのき

氷芝

あつうはあまのくはやくちあまの

水風

あまのくくくはやくちあまのき

芳舟

あつうはあまのくはやくちあまの

石葉

粟飯

新法

新夢もやてしぬとぬりの女	映山
新花ははやあけり多事な枝立	嵐
市やそのしほをたかしくし牛糸	五山
舞舞もさあり年を休の市	狸竹
猿侍のころをさうり奈布お市	住猿
秋風のこもゆるくりあり所過ぎ	如林
歌をさしり人ころりや松山	玄石
舞少やさうりのあきもいつま	半山
時の夢はれ葉ふらめりや松の舟	海湖
心こそあはるる舟の空桐や后の舟	市船
あまふのうきも伸て後舟	東舟

後をさくねもあしりや后舟	嵐
松中をなげれて沸く後舟	弘石
船長は引ねる懐て後舟	雲山
夢定まらぬや舞ひる休め	松枝
ねりてはこれとさしり夢後舟	保言
舟もさしりもさしりて夢	袖香
舟知てねるはあけりや中舟	英山
ゆきとくたあはれさあを秋の霧	嵐
舟舟ちまあしり海をあふの霧	舟舟
雲もさしりもさしりの舟	素回
舟はさしりや海の舟もさしり	船

秋

行 籠

雲一とや背片方古織の葎あり 岩より垂るし 秋をけり心は憂半 その竹をうつあらしく 落て木のけり ゆく枝や 柳阿け ちかちかく日 山むねと 所まゝの ちかちかく 木より 降もあゝ 舞りけり ぬるる 湯に茶 林ありー ちんのまゝの 海乃色 深海ー ちかちかくの 津 雲霧 りりあやまを 陸の小酒 暮	山 處 潮 有 真 如 梅 字 幽 草 三 岳 陸 岡 陸 經 潮 有 素 踏
---	--

秋 深

之 隣

